

## ドラムキャリア（油圧式） 取扱説明書

【品番】 DHR-10

この度は、KIKAIYA「ドラムキャリア（油圧式）」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

- \* この取扱説明書は、商品の正しい使い方やメンテナンス方法、使用上の注意について記載しております。
- \* 本書を最後まで必ずお読みいただき、商品を正しく取り付し、お使いください。
- \* 本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。



コバヤシデンソー株式会社

〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂 1415-3

(MAIL) [info@kikaiya.com](mailto:info@kikaiya.com)

## ■調査及び修理をご依頼の前に

\* 故障とお考えの前に、弊社までご相談ください。

改造により故障及び損傷した場合は修理対応できませんのでご注意ください。

\* 調査を依頼される際の送料は、お客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

## ■注意事項

- ドラムキャリアは水平で固い床の上で使用してください。
- 能力以上の荷重をかけないでください。
- ドラム缶をしっかりと掴んで安全が確認できてからドラム缶を移動させてください。

## ■仕様

能力	350kg
上昇高さ(ストローク)	約 250mm
幅×奥行×高さ	約 790×810×1120mm(ハンドル含む)
内径サイズ	・車輪から車輪の間:約 635mm ・車輪の中心からドラム当たり面まで:約 330mm
本体重量	38kg
適合ドラム	鋼製ドラム缶 200L(クローズタイプ) 空ドラムは軽いので、持ち上げる時は手で軽く押さえて爪をかけてください。 (空ドラムは移動時に振動で外れる事がございますので、ご注意下さい)

※製品改良の為、予告なく仕様変更をする事がございます。

## ■名称



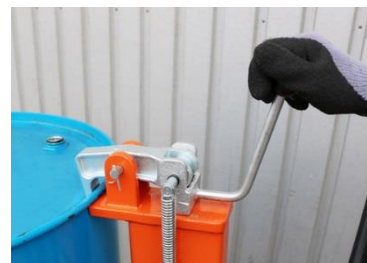
## ■取扱方法

ドラムチャックをドラム缶に合わせ、油圧ジャッキレバーを軽く操作するだけで、スムーズに上昇します

### 【ドラム缶の上昇】

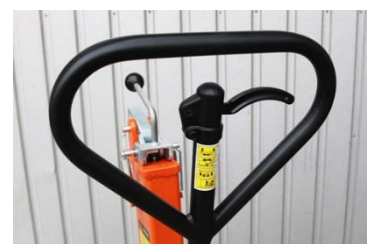
1. ドラム缶にキャリアをそわせ、油圧ジャッキレバーで上昇させていくと自動的にドラムチャックがドラム缶のフチ(内側)にかかります。
2. ドラムチャックがフチにかかったのを確認し、安全ロックをかけ、さらに油圧ジャッキレバーで上昇させます。

※しっかりとドラム缶がかかっているのを確認して下さい。



### 【移動】

1. 移動させる際はハンドルレバーをニュートラルに合わせ、油圧ジャッキレバーを持ち、移動させます。  
(ハンドルレバーを手前に引くとニュートラルになります)



### 【ドラム缶の下降】

1. ハンドルレバーを引き上げるだけで降下します。ドラム缶をゆっくりと下降させて下さい。

## ■エア抜き

輸送後や修理後・作動油が不足した時はシリンダーにエアが噛む事があります。

エア噛みをする则動きが遅くなる、ジャッキが上昇しない・自然降下するなどの症状が出ます。

その場合は下記要領で「エア抜き」を行ってください。(必ず無負荷状態で行ってください。)

1. ハンドルとレバーを握ってポンプアップして下さい(約 10 回程度)
2. レバーを戻した状態にしてポンプアップして下さい(約 10 回程度)

上記要領でも上手く作動しない場合は 1～3 を数回繰り返して行ってください。

## ■メンテナンス

- 定期的に前車輪やキャスターに異常、取り付けネジなどに緩み、パッキンを点検してください。
- オイルが不足した時はオイルを交換または補充してください。(使用オイルは下記表を参照)
- ドラム缶を掴む爪に異常がないか点検してください。異常がある場合はすぐに使用を中止してください。
- 全ての取り付けネジやピンなどの緩みなどが無いか注意深く点検してください。

気温	-5℃ ～ +45℃	-15℃ ～ -5℃
油圧作動油	作動油(ISO VG68)	作動油(ISO VG46)